

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	よろず保育園
活動期間	R6.7.5～7.6
クラス名(年齢)	ひまわり組(5歳児)
年間テーマ	水

1.活動テーマ

<テーマ>

一泊保育 『ひまわり旅行』

<テーマの設定理由(子どもの姿)>

都会では見られない大自然の中で、身も心も浸って過ごしたい！目的地に入笠山登山、そして吐竜の滝、三分一湧水を設定し、自然の中の“みず”に触れる中で自分のいのちを見つめ、その尊さを知る機会とした。

2.活動スケジュール

R6.7.5 入笠山登山

R6.7.6 吐竜の滝→山道を散策→牧場→三分一湧水

3.活動のために準備した素材や道具、環境の設定

目的地:入笠山、吐竜の滝、牧場、三分一湧水

4.探究活動の実践

<活動内容>

一日目は入笠山に登り、湿原に咲く花々を見たり、岩場をのぼって頂上の絶景を楽しむ。二日目に訪れる吐竜の滝では、森に降る雨が土にたまり、ダイナミックにあふれ出ていく姿に、水の勢いを知り、ここから川へ、町へといのちをつなぐ長い旅に出ることに思いを馳せる。

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

子どもの言葉・姿	写真
<p>R6.7.6 吐竜の滝を目指して</p> <p>「どりゅうのたき、まだかな」「野いちごがあるよ」</p> <p>山道の自然を発見しながら、耳をすませて歩く子どもたち。どこからか、音が聞こえるよ…?</p> <p>「川かな?」「水の音じゃない?」見えてきたのは電車の橋脚!こんなところに電車も通るんだね、びっくり!電車の音が消えてもかすかに聞こえる“ゴオー”という音…「水の音だよ!」「滝だよ!」</p> <p>歩く足にも力が入る子どもたち。</p> <p>ごつごつした岩場を避けて歩くと…</p> <p>「あった!あったよ!」「滝だ——!」</p> <p>岩を割って流れ出ていく水の姿に、大きな歓声があがった。水しぶきを上げ、滝つぼに水が落ちていく光景に誰かがぼつりと「みずたくんだね」。「みずたくんがおおさわぎしているよ」「木が水を飲んでみたい」次第に口数も少なくなり、じっと見入っていた子どもたちだった。</p>	

5.振り返り(振り返りによって得た保育者の気づき)

「“たき”ってどんなものだろう?」ずっと心の中にあった“滝”のこと。写真や映像では見たことがあっても、実際に見るとその迫力に言葉を失い、じっと見入っている姿が本当に印象的だった。「みず、はっけん!」と、前日の登山でもせせらぎや草の露を見つけては発見の連続だった子どもたち。滝の勢いに圧倒され、躍動的な姿を「みずたくんがおおさわぎ」と表現したその感性に驚き、深い感銘を受けた。